

科目名・科目番号 (025438)		教員名 矢花 光	学科等	社会福祉・必修	履修年次	3
社会福祉セミナーⅢ			曜日・時限等	木曜3時限・通年	単位数	4
			オフィスアワー	金曜日・2時限	B324研究室	
授業概要 とねらい	“生活を直接支援する”という視点から、卒業研究作成の基礎づくりと就職に向けての指導を行なう。「読むこと」「書くこと」「伝えること」「考えること」を再確認しながら、論文を書くための備えをする。可能な範囲で課外授業を行い、対人援助技術の訓練をする。					
到達目標	前期の目標：卒業研究論文に対するテーマを見つける。 後期の到達目標：テーマに関する資料を調べたり、読み進めたりする。他者とのコミュニケーションを通して、自己の課題を把握する。					
準備学習	新聞・雑誌など、ちまたに溢れる様々な情報を食欲に読んでおく					
授業計画	回	授業内容	行動目標			
	1	第1回生活支援合同セミナー	セミナーⅢの目標と一年間の予定を把握する。			
	2	オリエンテーション	グループワーク。アイスブレイクを通してセミナーの仲間を理解する。			
	3	研究について(1)	各自の現時点で興味のある内容を、先輩の卒業研究論文から理解し、研究とは何かについて理解する。			
	4	研究について(2)	各自の現時点で興味のある内容を、先輩の卒業研究論文から理解し、研究とは何かについて理解する。			
	5	文章を読む(1)	新聞やエッセイ集などを読み、読みやすい文章に工夫する。(1)			
	6	文章を読む(2)	新聞やエッセイ集などを読み、読みやすい文章に工夫する。(2)			
	7	第2回合同セミナー	就職のための指導：就職指導課 職務適性テストを受け、自己の適性を考える。			
	8	文章を書く(1)	各自が興味のあるテーマについて文献を集め、文章の組み立てやポイントを整理する。他者に内容を伝える。(1)			
	9	文章を書く(2)	各自が興味のあるテーマについて文献を集め、文章の組み立てやポイントを整理する。他者に内容を伝える。(2)			
	10	テーマを検討する	それぞれが、興味のあるテーマを発表し、理解を深める。			
	11	第2回合同セミナー	就職のための指導：就職指導課 職務適性テストの結果をもとに、自己分析を行なう。			
	12	他者に伝える(1)	他者に伝えるための準備を学習し、プレゼンテーション技術を理解する。(1)			
	13	他者に伝える(2)	他者に伝えるための準備を学習し、プレゼンテーション技術を理解する。(2)			
	14	第2回生活支援合同セミナー	研究報告会の実施。 半年間の成果をパワーポイントにまとめて発表する。			
15	第3回合同セミナー	就職のための指導：就職指導課 夏休みの就職指導の仕方と就職支援サイトの登録を行なう。				

	回	授業内容	行動目標
授業計画	16	企業内の福祉の利点(1)	企業の中での福祉の視点をいかすにはどのようなものがあるかを考える。(1)
	17	企業内の福祉の利点(2)	企業の中での福祉の視点をいかすにはどのようなものがあるかを考える。(2)
	18	資格について(1)	福祉の資格にはどのようなものがあるのか調べる(資格内容・取得方法・資格をいかせる仕事)(1)
	19	資格について(2)	福祉の資格にはどのようなものがあるのか調べる(資格内容・取得方法・資格をいかせる仕事)(2)
	20	第3回生活支援合同セミナー	就職のための指導。 福祉関連の資格について調べた結果を発表し、資格と仕事の結びつきを学ぶ。
	21	テーマの再検討	文献の検討から、改めてテーマについて再考する。
	22	論文の書きかた(1)	各自が論文の書きかたについて理解する。(1)
	23	論文の書きかた(2)	各自が論文の書きかたについて理解する。(2)
	24	第4回生活支援合同セミナー	就職のための指導。 福祉の職場を見学し、仕事の内容を知るとともに、福祉現場で働く意義を考える。
	25	第4回生活支援合同セミナーの振り返り	福祉の職場を見学したうえでの体験を振り返る。
	26	研究計画についての立案(1)	仮説、計画の立て方を学ぶ。計画内容の検討、修正。(1)
	27	研究計画についての立案(2)	仮説、計画の立て方を学ぶ。計画内容の検討、修正。(2)
	28	研究計画についての立案(3)	仮説、計画の立て方を学ぶ。計画内容の検討、修正。(3)
	29	第5回生活支援合同セミナー	研究報告会の実施。 1年間の成果をパワーポイントにまとめて発表する。
	30	第4回合同セミナー	就職のための指導: 就職指導課 就職内定報告会に参加し、今後の活動予定を立てる。
成績評価の方法・基準	「授業への参加・発表の態度など」(40%)+「レポート内容、小論文など」(60%) とする。		
教科書	書名	著者	発行所
参考図書	書名	著者	発行所
教員からのメッセージ	授業内容については、進捗状況に応じて、変更することがあります。		